

## 第3回長井市振興審議会 議事録

開催日時：平成24年12月20日（木） 13時15分～15時15分

開催場所：長井市民文化会館 3階 大会議室

出席者：27名（委員13名、市長(オブザーバーとして参加)、事務局13名）（名簿は7ページに掲載）

傍聴者：1名

---

次 第：

- 1 開 会
- 2 あいさつ（北川会長、内谷市長）
- 3 講話 「新しいローカリズムについて」（北川会長）
- 4 協議
  - （1）第四次総合計画の総括について（事務局）
  - （2）市民意向調査について（事務局）
  - （3）第五次総合計画の骨格（案）について（事務局）
  - （4）今後の進め方について（事務局）
  - （5）その他について
- 5 その他
- 6 閉 会

### 1. 開会（進行：企画調整課長）

本日は、師走のお忙しいところ、長井市振興審議会にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。本日の委員の出席状況ですが、欠席の連絡をいただいている方もいらっしゃいますが、出席者が定数を満たしているため、本会は成立いたします。

それでは、長井市振興審議会会長でいらっしゃいます山形大学人文学部長の北川先生よりごあいさつをいただきます。

### 2. あいさつ（北川会長）

どうも皆さん、こんにちは。雪のなか、また大変お忙しい師走のなか、お集まりいただき、ありがとうございます。

この審議会も第三回を迎えましたが、この間の情勢については、つい先ごろに衆議院議員選挙があり、政権交代があったというのが大きな出来事でした。11党もの政党がありましたが、投票率は前回から10%程度下がり、戦後最低となりました。こういった政治の流れがどんどん変わって流動化が進みますと、国民もどう対応したらいいかわからなくなるということが背景にあるのではないかと思います。

本日「新しいローカリズムについて」というテーマで講話をさせていただきますが、中央政

治等の変動に左右されず、自分たちの足場を固めてしっかりと持続可能な地域社会を作っていくことが大事になってきます。そのための最大のチャンスとして、総合計画の策定が位置づけられますので、本日も忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

あいさつ（内谷市長）

皆さん、こんにちは。年の瀬のお忙しいなか、第3回振興審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、この間、審議委員の皆さまから多くのご提言をいただいていることに感謝申し上げます。

私ども地方自治体から見れば、今回の新政権がこれからどんな施策を展開されるのかは、まだまだ見えてきません。ただ、一つ言えることは景気を回復して、雇用を安定させるということを至上命題として矢継ぎ早に対応策を打ち出しています。既に株価や円高の是正の動きが見え始め、良い方向には行っていると思います。今後10年間で200兆円の日本の強靱化計画を打ち出していますので、公共事業はじめ建設業については一定程度循環が始まりそうです。

長井市では、「かわと道の駅」が議会に認めてもらえていませんが、議論が深まっており、国の方向性は来年度以降に当市がやろうとしていることに追い風となりますので、あきらめずに長井市の厳しい経済状況を少しでも活性化するため、こういった事業はどんどん進めていきたいと思っています。

うれしい話題もありました。これまでなかなか賞を取れなかったYTSの「ふるさとCM大賞」で初めて「特別賞」を受賞しました。長井のおいしい水をテーマにした内容でした。

本町の街路事業と合わせて、駅前の街路事業もまちづくり協議会を組織しました。中心市街地の活性化は、商店街をはじめ中央地区の皆さまが望んでいらっしゃると思いますので、県事業ではありますが、市としても頑張っていきたいと思っています。

第四次総合計画のときは、策定期間がマルコンやハイマングループが清算されたあとの時期であり、財政が一番厳しい時代でした。第五次総合計画でどんな方向性を示せるかということは、国の流れと一体のところがあります。行政では産業振興はなかなか図れません。商工会議所やJA、各企業などのご指導をいただきながら、総合計画である程度具体的に市としての役割、民間団体、企業の役割なども示していただければと思っています。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 講 話

（北川会長より「新しいローカリズムについて」と題して講話をしていただいた。）

### 4. 協 議

（進行） 続いて、協議に入らせていただきます。ここからは長井市振興審議会条例第6条第2項の規定によりまして、議長を北川会長にお願いします。

（議長） それでは、私の方で議事を進めさせていただきます。よろしくお願い致します。

協議事項の（1）の第四次総合計画の総括についてから（3）の第五次総合計画の骨格（案）について、まとめて事務局からご説明をお願いします。

(事務局) (資料に基づき説明を行った。)

■協議事項(1) 第四次総合計画の総括について

(議長) 事務局からの説明に対して、質問等はありませんか。(なし)

■協議事項(2) 市民意向調査について

(議長) 事務局からの説明に対して、質問等はありませんか。(なし)

■協議事項(3) 第五次総合計画の骨格(案)について

(議長) 事務局からの説明に対して、質問等はありませんか。

①まちづくりの理念について

(A 委員) 世界の視点でいうと、経済のほかにも「平和」に関することが騒がしくなっています。長井は「平和都市宣言」をしていることもあり、理念やその背景として加えていってはどうでしょうか。

(事務局) これまで「平和都市宣言」に基づいた取り組みをしてきましたが、今後も実施計画や個別事業のなかで反映させていきたいと思えます。

②実施計画について

(A 委員) 第五次総合計画の構成として、実施計画については計画期間等はどうな形で検討されているのでしょうか。

(事務局) 現在の実施計画は3年計画で作り、毎年見直しをかけています。第五次については、今後どのような形がいいかを議論をしていきたいと思っています。

③目指そうとするまちの姿について

(B 委員) 選択と集中の考え方が大事だと思っていますが、目指すまちの姿のところで「まちとして全体最適化を図る」とあるのは、選択と集中の考え方とは反対の考え方だと思います。どのように理解したらいいのでしょうか。

(事務局) 選択と集中のなかで、需要に応じて全体に対して効果的な施策を考えていくという視点で記載しておりますが、わかりにくい表現でもありますので、修正を加えていきます。

#### ④主要政策の方向性について

##### ◆活き活きと暮らせるまちづくりについて

(B 委員) 前回いただいたデータ集にあった一人あたりの所得のデータを見て愕然としました。リーマンショックなどがあったわけですが、留まるどころを知らず年々落ち込んできているのです。また、生活保護費は年々増えています。懸念されるのは貧困の連鎖です。貧困により教育を受けられない、十分な人が育たないといったことがないように、若年無業者への訓練等の社会的な教育機会を確保することが必要と考えます。

(C 委員) 新しい家族、新しい命を生み、育むことも大事。また、婚活事業にも行政として積極に関わってほしい。人が生まれないとまちは持続できないという視点で、取り組んでほしい。

##### ◆産業の振興と働く場の創出支援について

(D 委員) 最も重要な課題は産業振興だと認識していますが、第四次総合計画ではまだ道半ば。それにはレインボープランを核として、需要拡大と雇用創出のために収益を上げられるようにダイナミックに拡大していくという視点が大事です。

(C 委員) 今までと同じことを続けてもなかなか厳しい。農業などにおいても、新しいものの組み合わせで新しいものを作るという方向性を出してほしい

##### ◆レインボープランについて

(E 委員) 主要政策の方向性についての項目のなかで、「レインボープランによる環境保全型農産物のブランド化」については今後重要と思われる課題だと思います。このことについて具体的な方向性について教えてください。

(事務局) これら施策の方向性については、まだ検討中です。まずは、政策レベルでの方向性がこれで良いかどうかという観点で審議いただければと存じます。

(議長) 今後、施策の話は具体的に検討していくということですね。

(E 委員) レインボープランは世代交代などの課題もあります。市内での循環とともに、振興の部分について考える必要があると認識していることから、この部分は、今後求められる大きな課題だなと感じました。そのためには、行政とさらに深く関わりながら進めていく必要があると思います。

(事務局) 地域内で経済が循環するしくみを作っていきたいと考えていることから、レインボープランの理念も活かしながら、さらに戦略的に施策を展開していく必要があると考えています。

(議長) レインボープランの理念をまちづくり全体に活かしていくという視点が大事ですね。

#### ◆まちの持続性を高める地域経営について

- (F 委員) 主要政策の方向性で、「まちの持続性を高める地域経営」とは、これまでのまちづくりとどう変わるのか教えてほしい。
- (事務局) 地域経営とは、経済のみならず自然環境や文化も含めた地域の発展のために、地域にあるあらゆる資源を活用し、地域をマネジメントしていくことを示しています。  
長井の資源をもとに持続可能なまちを創っていくという思いと、マネジメントの意識を持つという意味で使っています。なお、文言については修正しながら進めていきます。
- (G 委員) ここの表現として、「持続」は現状維持であり、それを「高める」というのは誤りではないですか。同様の言葉を使うなら「持続可能な発展」などが適切です。
- (A 委員) 最近、市民と行政が協働しながら持続的な発展を目指す、というのがよく言われていることです。ここの表現も同様の趣旨かと思います。
- (議長) 市民と行政の関係性も含めて持続的ということだと思いますが、なお、よりわかりやすいように修正していくということによろしいかと思います。

#### ◆議論の整理について

- (D 委員) 第2回審議会後に、専門部会に分かれての議論がありましたが、その議論の内容がどんなものだったかがわからない状況です。その発表・報告を行ってから、全体の構想に取り掛かる必要があるのではないかと思います。何が論点となるテーマかが見えなくなっています。また、「地域経営」がどうあるべきか、という議論も前段に必要。
- (事務局) 全体の議論経過を整理して、皆様にお示ししていきます。
- (H 委員) 政策の方向性は、まだ具体的にどういう風にしていこうということが見えにくいと思います。例えば、工業団地は整備するのかどうか、情報発信はどのように行うのかなどがわかる形で示していただき、次回は市民にもわかりやすいものにしてほしいなと思います。
- (事務局) 次回は具体的な内容をお示しして、議論いただきたいと思います。

#### 市長によるコメント

主要政策については、これからまだ議論が必要な点だと思います。ただ、どんな方向性を示すかについて、3項目では足りず、言葉も足りない部分があるのかなと感じました。北川会長から講話いただいた新しいローカリズムについての考え方もぜひ入れていただければと思います。

ます。

第四次総合計画の策定時は、選択と集中もできないほど、財政が苦しい時代でした。しかし、今後はいよいよ戦略的な計画として、いつどこに選択と集中を行うかを考え、見える形にしていったほうがいいのかなど考えています。

引き続き、皆様からご議論いただきたいと存じます。

■協議事項（４）今後の進め方について

（事務局） （資料に基づき説明を行った。）

（議長） このことについて、お気づきの点や質問がありましたらお願いします。（なし）

これから具体的な内容に入っていきますので、まだまだ難しい議論を続けていかなければなりません、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

■協議事項（５）その他について

（議長） その他について、皆さまから何かございますか。（なし）

ご協議いただき、ありがとうございました。

これから具体的な内容に入っていきますので、まだまだ難しい議論を継続的に進めていかなければなりません、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

5. その他

（進行） その他として皆様から何かございますか。（なし）

6. 閉 会

（進行） 本日は慎重審議をいただきまして、誠にありがとうございました。  
それでは、これにて長井市振興審議会を閉じさせていただきます。  
誠にありがとうございました。

（15：15終了）

長井市振興審議会委員 名簿

(平成 24 年 7 月 1 日現在)

第 1 号委員：市の行政委員会の委員

No	区分・所属等	氏名	備考
1	教育委員会委員長	加藤 弘二	
2	農業委員会委員	勝見 裕子	

第 2 号委員：公共的団体等の役員及び職員

No	区分・所属等	氏名	備考
1	J A山形おきたま長井地区経営役員	竹田 喜博	欠
2	長井商工会議所副会頭	馬場 先	
3	長井市観光協会副会長	野村 浩志	欠
4	長井教育会理事長	渡部 秀一	
5	長井青年会議所理事長	吉田 重成	
6	地区長連合会会長	安部 義彦	
7	国際ソロプチミスト長井会長	石山 泰子	～H24.6.31
	同上	高石 祐子	H24.7.1～ 欠
8	(特)長井まちづくり NPO センター事務局長	青木 孝弘	

第 3 号委員：知識経験を有する者

No	区分・所属等	氏名	備考
1	山形大学人文学部副学部長	北川 忠明	会長
2	山形工科短期大学校長	勝見 英一朗	欠
3	サンリット化成株式会社代表取締役	齋藤 道郎	
4	協同薬品工業株式会社代表取締役	横澤 泰雄	会長代理
5	ながい市民未来塾塾生	鈴木 周子	
6	レインボープラン推進協議会会長	齋藤 真知子	
7	公募委員（特別支援学級講師）	磯村 志津香	欠
8	公募委員（ながい市民未来塾塾生）	平吹 登	